



# 赤麻小だより

第3号

平成26年5月1日

発行所：栃木市立赤麻小学校校長室

平成26年度がスタートして早一か月。校庭の木々はいつの間にか鮮やかな緑を身にまとい、正に新緑の季節です。この季節になると「山笑う」という言葉を思い浮かべます。冬の厳しい寒さから解放され、春の山の草木が一齐に若芽を吹き、大笑いしているような明るい感じになる様子を表現している言葉です。太平山や三轟山からもその笑い声が聞こえてきそうです。

子どもたちも皆、元気いっぱいに登校しております。朝、校門に立ち登校してくる子どもたちに、「おはようございます」とあいさつすると、少し恥ずかしそうにあいさつを返してくれる子、元気いっぱいであいさつしてくれる子、それぞれの「おはようございます」が聞こえています。休み時間には、校庭は「山笑う」ではなく子どもたちの元気な笑い声でいっぱいになります。(今日も楽しく元気に過ごしてほしい)と願いながら、子どもたちを見守る毎日です。

昨日、「1年生を迎える会」を行い、全校児童・教職員で、楽しいゲームを行いました。入学式からの数日は不安そうな表情の1年生でしたが、高学年のお兄さんやお姉さんたちとゲームに参加する子どもたちの笑顔はとても印象的でした。伸び伸びと学校生活を送り始めた1年生。その成長には今後も目が離せません。



笑顔いっぱい赤麻っ子たち(1年生を迎える会より)

## 授業参観、PTA総会お世話になりました

4月25日(金)、本年度初めての授業参観を行いました。それぞれに進級したお子さんの活躍ぶりをご覧いただけましたでしょうか。

PTA総会にも、たくさんの保護者の皆様にご出席くださいました。また、学年懇談会も、短い時間でしたが、有意義な話し合いができたことと思います。PTA総会でもお話しさせていただきましたが、本校は平成26年度・27年度の2年間、栃木市教育委員会より学力向上推進研究校の指定を受けております。子どもたちの学習意欲の向上を図り学力向上を目指すための学習指導の実践を研究していきます。今後とも子どもたちのよりよい成長のため、学校と家庭が連携協力して教育の充実に努めてまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

なお、PTA総会の前の11日(金)には、PTA新旧理事会を開催いたしました。役員さんが夜遅くまで熱心にご協議くださり、今年度のPTA活動の計画を立ててくださいました。心より感謝申し上げます。

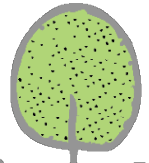


# 5月の予定

- 1日(木) 家庭訪問～7日
- 9日(金) 新体力テスト  
アルミ缶回収
- 12日(月) クラブ開始  
内科検診～13日
- 13日(火) 読み聞かせ  
防災訓練
- 15日(木) 耳鼻科検診  
5年校外学習  
(渡良瀬遊水地)
- 20日(火) 4年校外学習  
(大岩藤浄化センター)
- 21日(水) 6年修学旅行  
～22日
- 27日(火) 1年校外学習  
(渡良瀬公園)
- 28日(水) 4年宿泊学習  
～29日
- 30日(金) プール開き



ことばを大切に♪  
ことばに興味をもって♪



日本語はおもしろい

本校では2年生から「辞書引き学習」を始めます。教科書に出てくる意味の分からない言葉を辞書で引いたらそのページに付箋紙を貼ります。付箋紙には調べた言葉と何番目に引いたのかを数字で記入します。3年生の辞書はカラフルな付箋紙がいっぱい挟まれています。「いくつ調べたの?」と問うと、「185」とか「200を超えた」という答えが返ってきました。辞書を引く言葉の意味が分かると「あった!分かった!!」と喜びの声が上がります。子どもたちの目はきらきら輝いていました。

私たちは言葉を当たり前に使っています。ある本の中に、香りや味、音、感じたこと、思い等曖昧なものを言葉にする(言語化)ことで、認識され記憶となると書いてありました。言葉の重要性はそこにあると思うのです。何か問題が起きたとき、困ったとき、相手に分かってほしいとき等、心も感情も考えも全て、互いの思いを言葉で伝え合い、話し合ったり文章に書いたりし、理解し合うことで解決するのです。

学校では楽しく学習したり友達と活動したりするために、子供たちの言語活動を充実させたいと考えています。辞書引き学習はその活動の一つですが、読み聞かせや読書も同様です。子供たちが言葉に興味をもち、日本語のおもしろさに気付いてくれたらと思っています。

## ことば あ・れ・こ・れ 〈1〉

「赤麻小だより」でも、楽しい、おもしろい、不思議、素敵な日本語や作品(詩や文章、本等)を折にふれご紹介したいと思います。初回は雨に始まった5月なので、春の雨の名称です。

穀物を潤す春の雨が降る頃を「穀雨」というそうです。この時期に降る雨の名をご紹介します。

- ① 穀物を育む「瑞雨(ずいう)」
- ② 草木を潤す「甘雨(かんう)」
- ③ 春の長雨「春霖(しゅんりん)」
- ④ 早く咲いてと花に促す「催花雨(さいかう)」
- ⑤ 菜の花の咲く頃降る「菜種梅雨(なたねづゆ)」
- ⑥ 白い卯の花をくたす(腐らせてしまう)ほどの長雨「卯の花腐し(うのはなくたし)」

雨の名称にも、自然と生活の深い関わりを感じています。「日本の七十二候を楽しむ」東方出版より

## 春の詩を選んでみました

筍はこの季節に旬な食べ物です。我が家でも先日採れたての筍をいただきましたので、筍の味噌汁と筍ご飯、筍の煮物、筍の唐揚げと筍づくしの夕食となりました。筍はまさに春の味です。ところで、筍のおいしくなるこの季節は「竹の秋」とも言うそうです。筍が成長する横で親の竹は養分を取られ、黄色くなった葉が落ちていくそうです。竹にとっては秋なのです。親は植物も私たちが子育ては大変なのですね。でも、赤麻っ子たちには、この詩のように、元気はつらつ、「ぐん!」とのびて行ってほしいものです。

あつあつ  
さゆた  
のをま  
おのに  
ほせき  
してるら  
さんり  
に

つせぐた  
ちのんけ  
をび!の  
わしこ  
ってが  
たよ

たけのこぐん!  
武ぶ鹿じか  
悦えつこ子



《「臥遊録」の「春山淡冶(たんや)として笑うが如し」から》春の山の草木が一斉に若芽を吹いて、明るい感じになるようすをいう。《季 春》「故郷やどちらを見ても一・ふ／子規」

俳句では春の季語として用い「故郷やどちらを見ても山笑ふ／子規」などは

言葉を当たり前に使っている。言葉の重要性とは？

記憶は言葉 香りや味、音、感じたこと、思い、曖昧なものを言葉にする（言語化）

心も感情も考えも解決するためには互いの思いを伝え合い話し合い理解し合うこと

言葉の重要性

言葉・言の葉・言霊・言語

言葉を使って理解していく 多くの単語 言い方 表現力

日本語の難しさ 美しさ 費用減の美しさ

言葉に興味を持ってみましょう

